

(陳受28第57号)

住民参加のない武蔵境駅北口市有地有効活用事業の再検討を求めることに関する陳情

受理年月日	平成28年11月30日
陳情者	境1-2-4 下田 照雄 ほか43名

陳情の要旨

武蔵境駅北口再開発事業が市民参加で30年にわたって続けられ、今春北口広場が完成しました。最後に残された東側市有地の活用が市民参加で行われることを期待していましたが、市は十分な地元説明会や市民参加を行わず、突然11月16日市議会総務委員会でPPPの具体案を発表しました。市議会に具体的な計画がようやく明らかになりましたが、その内容は600㎡の土地を月額47万円で民間事業者に貸し出し、2階の一角を市政センターとして市が借り受け、月額40万円の賃料を支払うとあります。建物は事業者の費用で建てるものとはいえ、実質月額7万円で600㎡の市有地を民間事業者に貸し付けるという内容ともとれ、本事業に関しては以下のような疑問点、問題点が地域から持ち上がっています。

- 1 邑上市長は市民参加をうたっているが、地元の多くの市民が今回の計画に参加できていない。
- 2 「武蔵境らしさ」とは何か伝わってこない。
- 3 事業者とテナントの決定過程が明らかでない。
- 4 屋上バーベキューは武蔵境駅前にそぐわない。
- 5 医師会との協議はできているのか。また、地元診療所への影響が懸念される。
- 6 近隣の不動産相場へ悪影響を及ぼすおそれがある。
- 7 武蔵境駅前一等地の家賃は1階で坪3万円、2階で坪1万5千円が相場である。建築費3億5千万円かけたとしても10年間で回収でき、残りの20年間特定の業者に過剰な利益を供与する可能性がある。
- 8 市直営または開発公社での活用は考えなかったのか。

以上の趣旨より、以下のとおり陳情いたします。

記

武蔵境駅北口駅前市有地有効活用については、住民の声をしっかりと聞き、境のまちづくりに資するよう、再検討を要望する。